



## 缶サット甲子園 2023 和歌山地方大会に出場！

7月15日（土）、16日（日）に串本役場旧古座分庁舎、望楼の芝、南紀熊野ジオパークセンターにて缶サット甲子園2023和歌山地方大会が開催されました。2年生環境科学科「理数探究」ものづくりゼミの缶サット班（木村・鷹野・大井・東出）が出場しました。当日、打ち上げまでに予期せぬトラブルが起こり、打ち上げ順をなくなく最後にまわしてもらったりと自分たちの予定通りに進めることができず、苦戦しました。5位という悔しい結果となりましたが、自分たちの課題が鮮明になったり、たくさんの気づきがあったりと収穫もありました。缶サット班はこの経験を必ず糧にして、次へステップアップしてほしいです。



## 向陽 STEAM 教育講座「解剖講座」

7月19日（水）放課後、向陽 STEAM 教育講座「解剖講座」を実施し、中高生の希望者26名が参加しました。和歌山県立自然博物館の平嶋健太郎氏を講師に迎え、解剖を通して亀の内部構造や生態について御教授いただきました。今回は、外来種「ミシシippアカミミガメ」の解剖を行いました。

亀の甲羅をノコギリでひらき、亀の臓器を観察しました。臓器の配置や大きさ、色など、はじめて亀の内部構造を見た生徒たちから驚きの声があがりました。解剖の途中で、メスとオスの比較を行いました。メスの体内に多くの卵が見られたことから、外来種であるミシシippアカミミガメの繁殖力の高さを実感することができました。また、胃から魚や昆虫、藻などが見つかったことから、亀が雑食であることを理解することができました。以下、生徒の感想です。『組織のつながりや働きを視覚的に理解できて感動した。』『臓器があることは「当たり前」だと思っていたが、実際に解剖してみて、その「当たり前」に感動することができた。』『人間と似たつくりの臓器もあり、自分たちもこうなっているんだなと思った。』『他の生物はどうなっているのだろうと興味がわいた。』

